



現状の課題

工学部エリアの福利厚生ゾーンには、食堂、売店、理髪店、旅行代理店、保育所などが位置し、吹田キャンパス北側における生活基盤施設として重要な位置づけにある。

しかし、ハードの老朽化・狭隘化が進んでおり、また、サービスの内容についても、充実したキャンパスライフをおくるためには、未だ不十分な面が多い。

また、この場所は、広大な工学部ゾーンを貫くT字型のオープンスペースネットワークの基幹に相当し、キャンパスの「図」を構成する施設やオープンスペースを整備することも求められている。

計画の方針

①以下の点に配慮しながら、増築案（A案）と建替え案（B案）を提示する。

②ライフコア機能の充実

現状の機能に加えて、コンビニエンスストア、コーヒーショップ、屋台村、宿泊施設、学生ラウンジなどのスペースを拡充し、豊かなキャンパスライフを支えるための拠点とする。B案では、宿泊施設として、ホテルならびにアパートマンを提案する。

③オープンスペースネットワーク（キャンパスの骨格への配慮）

工学部エリアの中央軸から北側の原子力系、産業科学研究所方面に抜ける位置にあるため、両案とも、モールやテラスにより、快適な歩行者動線を計画する。

④景観形成への配慮

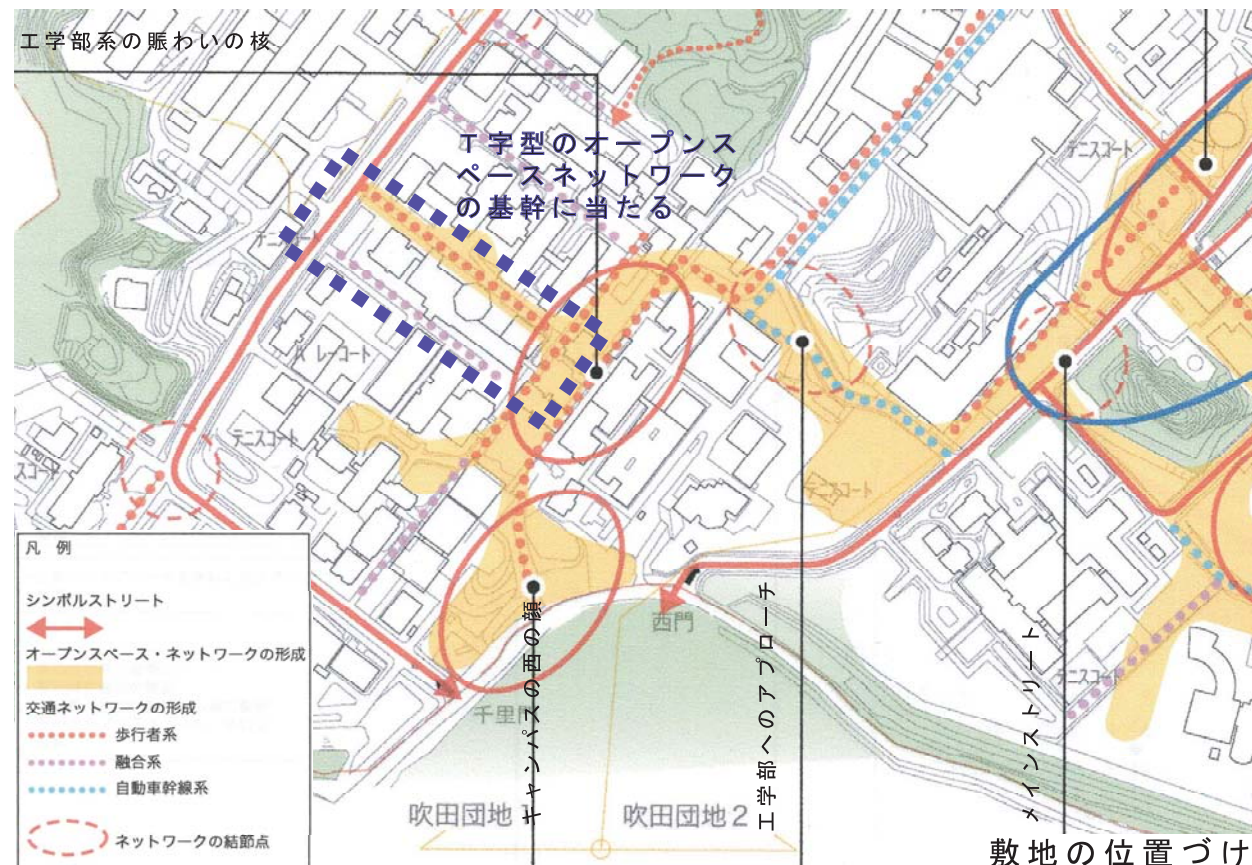
A案：整備当初の優れたモダニズムデザイン（既存食堂）を活かした計画とする。

B案：環状通り沿いに、中高層（6階程度）の宿泊施設を配置し、景観上のアクセントとする。



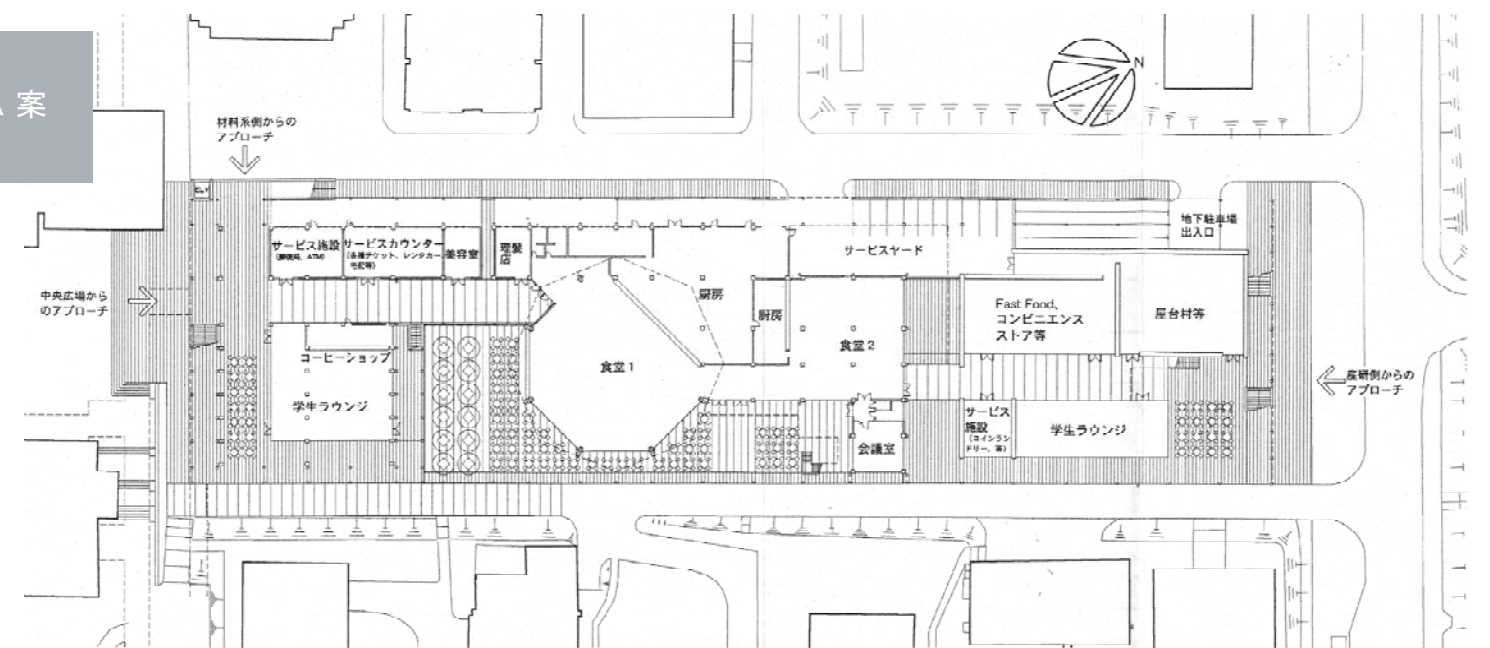
個性的な食堂部分の屋根、イベントも行われる（写真左はサッカーワールドカップ時のパブリックプロジェクション）

工学部系の賑わいの核

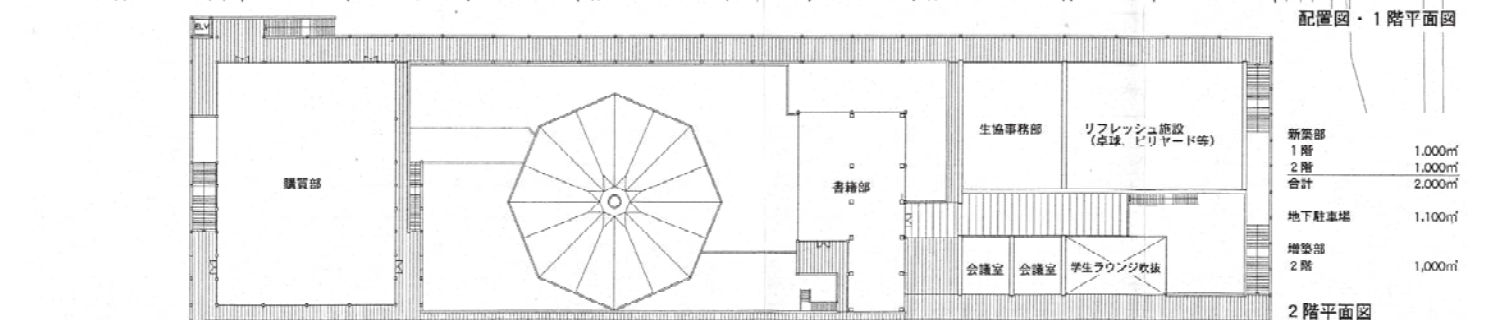


敷地の位置づけ

A案

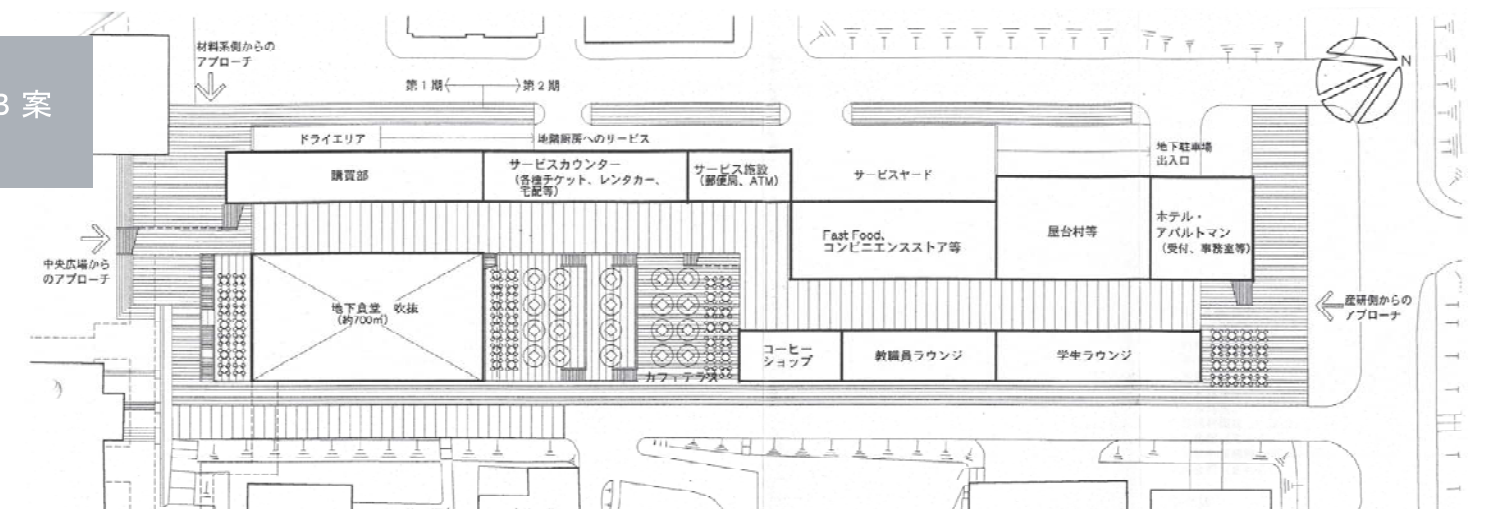


配置図・1階平面図

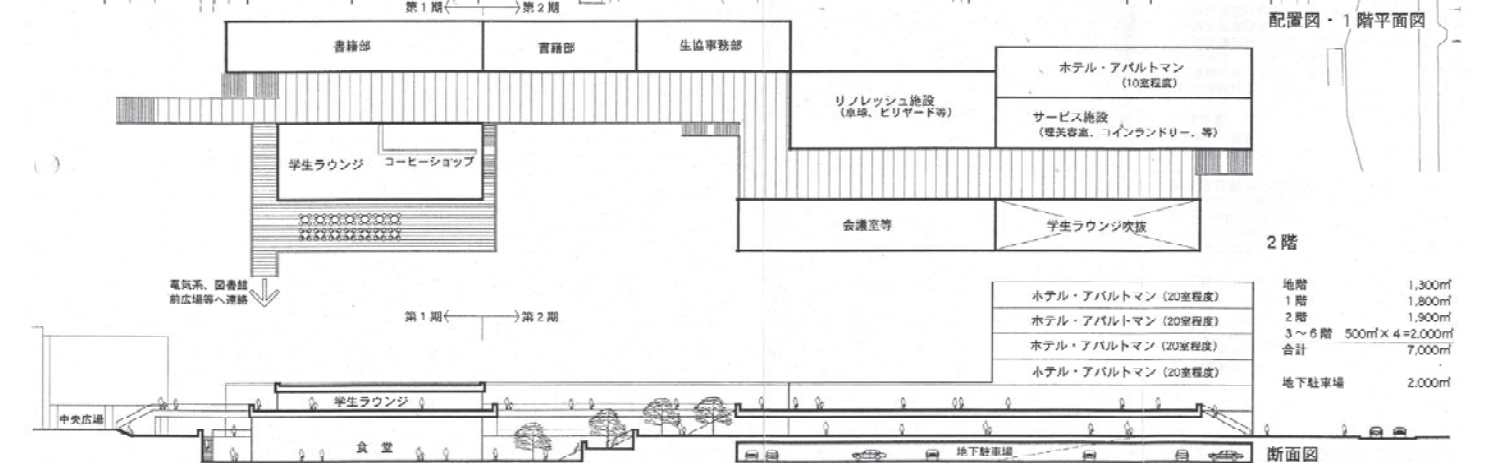


2階平面図

B案



配置図・1階平面図



2階

小アパ・アパートマン (20室程度)	1,300㎡
ホテル・アパートマン (20室程度)	1,800㎡
ホテル・アパートマン (20室程度)	1,900㎡
ホテル・アパートマン (20室程度)	500㎡ × 4 = 2,000㎡
合計	7,000㎡
地下駐車場	2,000㎡

断面図